

令和2年度  
(2020年度)

## 土木部の取り組み

<部長の方針・考え方>

- ①大規模災害や感染症拡大時も含めた「セーフティネットの構築」
- ②チャレンジスピリットや未来志向をもった  
「魅力ある都市基盤整備」「安全・安心のまちづくり」「みどり豊かな都市環境の創造」
- ③社会的効用を発揮し続ける「公園のあり方検討と適正な維持管理」

<部の構成>

土木政策課  
道路河川管理課  
道路河川整備課  
みち・みどり室  
交通対策課  
用地課

<主な担当事務>

- (1)道路及び交通に関すること
- (2)公園及び緑化に関すること
- (3)河川に関すること
- (4)里山の保全及び振興に関すること

### 具体的な取り組み：セーフティネットの確保・維持・改善

新型コロナウイルス感染症予防を考慮した上で、道路や公園等、生活を守り豊かにするための都市基盤に携わる部として、セーフティネットの確保・維持・改善に取り組みます。

- ◆道路・公園等の整備から維持管理まで一貫して所管する部として、各課間の連携を密にし、効率的・効果的に事務事業の執行を図ります。併せて、日頃より持続可能な体制を構築することで、大規模災害や感染症拡大時においても、効率的・効果的に事務事業の執行を図ります。
- ◆災害時に万全の対応が取れるよう、訓練などによる検証を繰り返し、充実した態勢を整えます。



道路啓開（救援ルート確保）訓練



橋梁点検訓練

### 具体的な取り組み：枚方市総合交通計画の推進

本市の将来都市像の実現を図る観点から、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ計画的な交通施策の実施に取り組みます。特に、持続可能な交通の実現のため、地域支援・自主運行型コミュニティ交通システムについて、地域と協働によるモデル事業の構築をめざし、交通に対する意識の醸成や機運の向上に向けた支援、地域に合った交通の検討を進めます。

## 具体的な取り組み： 都市計画道路の整備

都市基盤として安全・快適で活力を生む道路交通網の整備に取り組みます。

本市の道路ネットワークの軸となる都市計画道路については、安全で円滑な交通環境の構築や緊急時の避難経路や輸送経路の強化を図るため、第二京阪道路へアクセスする牧野長尾線や長尾杉線、また、通学路等の安全な歩行空間の確保に繋がる御殿山小倉線や中振交野線の整備を計画的に進めます。また、新名神高速道路やそのアクセス道路となる内里高野道線について、早期完成を大阪府や関係機関に働きかけるとともに、北山通線の改良に取り組みます。併せて、淀川を渡る牧野高槻線等については、大阪府に早期完成を働きかけるとともに、用地取得等に関する覚書に基づく実施協定を締結するなど大阪府と連携した取り組みを進めます。



牧野長尾線 JR アンダーパス工事

## 具体的な取り組み： 道路・公園・準用河川等の効率的・効果的な維持管理

道路や公園、準用河川などの機能や安全性を確保するため、これらの施設の異常や支障箇所の早期発見を目的に各関係機関との連携や部内でも引き続き定期的なパトロールを行うなど、迅速な対応に努めます。また、効率的・効果的で持続可能な維持管理を促進するため、舗装や橋梁、公園等施設の長寿命化計画に基づき、国の補助金などを活用しながら更新、改築等も行います。準用河川については、自然災害に強い河川環境を確保し、維持管理を効率的に行うため、整備計画の策定に取り組みます。

## 具体的な取り組み： 市内主要駅周辺の交通環境の改善

枚方市駅周辺については、枚方市駅周辺再整備ビジョンの将来像を見据え、枚方市総合文化芸術センターの開館に向けて、歩道拡幅やエスカレーターの設置など、交通環境の基盤整備を進めます。樟葉駅周辺については、駅前ロータリーの詳細設計が完了し、今後、交通環境の改善に向けた整備を進めます。御殿山駅周辺については、令和元年度に駅前ロータリーの改良に取り組み、今後も安全・安心な歩行空間の確保に向け、関係機関との協議や地域と協働・連携した取り組みを継続します。

## 具体的な取り組み： 安全・安心で快適な交通環境の創出

通学路や未就学児移動経路の安全対策としては、安全な歩行空間の確保を図るため、桜丘北小学校内の用地を活用した禁野春日線歩道拡幅など「通学路交通安全プログラム」等に基づく対策に取り組むとともに、信号交差点の車両乗り上げ防止対策を図っていきます。長尾船橋線など、段差が大きい歩道については、引き続き改良に向けた整備を進めるとともに、「枚方市自転車活用推進計画」等に基づき、安全で快適な歩行空間及び自転車通行空間の確保に向けた整備を進めます。

## 具体的な取り組み： 公園の整備と緑地保全や緑化推進によるみどり豊かな都市環境の創造

王仁公園については、現施設の指定管理運営と並行して、魅力あふれる公園のあり方を検討し、パークマネジメントの考え方を取り入れ、PPP/PFI 手法等（P-PFI を含む）の導入による可能性を調査し、再整備の基本方針を定めます。また、香里ヶ丘中央公園については、香里ヶ丘地域の活性化につなげることを目的に、駐車場拡張等の整備を行うとともに、図書館と「みどりの広場」を一体的に運営し機能連携による賑わいづくりを進めるなど、リニューアルオープンに向けて取り組みます。緑化推進については、まちなか緑化の推進や公園・緑地の利活用の促進を効率的・効果的に推進できるよう、緑化に関わる市民活動の支援を行うとともに、里山保全についても、市民等による森林ボランティアや企業による環境貢献活動への支援などにより、里山の保全・活用を促進します。



図書館とつながる公園 みどりの広場



香里ヶ丘図書館 イメージ図

4月の新型コロナウイルス感染症予防に係る緊急事態宣言の発令を受け、公園施設等においても、運動施設や大型遊具、駐車場等の利用制限に併せて利用方法の啓発看板の設置など3つの密を回避するための対策を講じ、利用者への情報伝達が的確かつ迅速に伝わるよう努めました。今後は、新たな日常の中での公園の社会的効用に関する情報発信と安全利用のための対策に取り組めます。